

第5章 基本方針と取組の方向，具体的な取組

5-1. ターゲット層の設定と志向分析

本プランでは、多様な世代を対象としつつ、効率的な効果発現のため、以下に示すようにターゲット層を設定し、重点的に取組を展開します。

(1) ターゲット層の設定

公園利用者の満足度の向上を図るため、公園利用者のうち、利用が多い年齢層をターゲット層とし、その志向を把握しました。

ターゲット層	特 徴
30代・40代を中心としたファミリー層	・「子供と一緒に遊べる・体験できる施設」，「子供が学ぶ施設」を志向（利用目的・希望施設）。その他，「イベントや催し物への参加」，「食事や休憩施設」に興味あり（あれば参加）。
60代以上のシニア層	・「健康増進」「教室・スクールなど学ぶ・交流する機会」を志向。

(2) ターゲット層の分析

公園利用者アンケートの設問である「満足度」や「ニーズ」（これができればもっと利用する・公園にあればよいと思う施設）について、ターゲット層と全体的な傾向を比較し、特徴を把握しました。

区分	主な特徴
満足度	・満足度が低い項目は、全体傾向とターゲット層で一致している。
ニーズ	・ファミリー層の上位ニーズは、全体傾向と概ね一致している。 ・シニア層（みよし公園・びんご運動公園）には、「健康づくり・病気予防に関する体験教室・講座」に特に高いニーズがある。

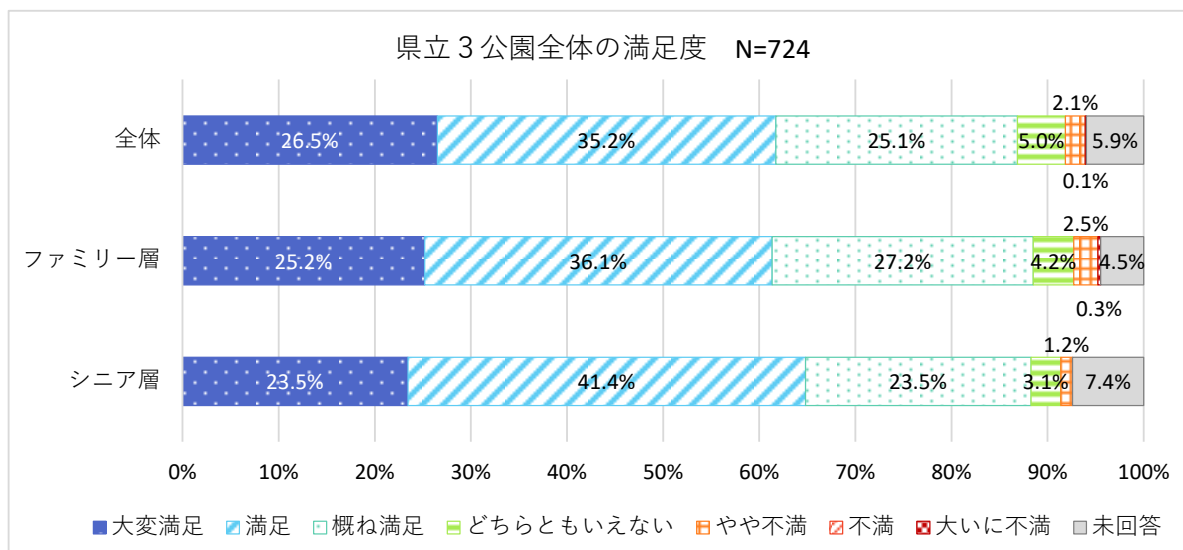


図5-1 県立3公園 ターゲット層ごとの満足度の傾向

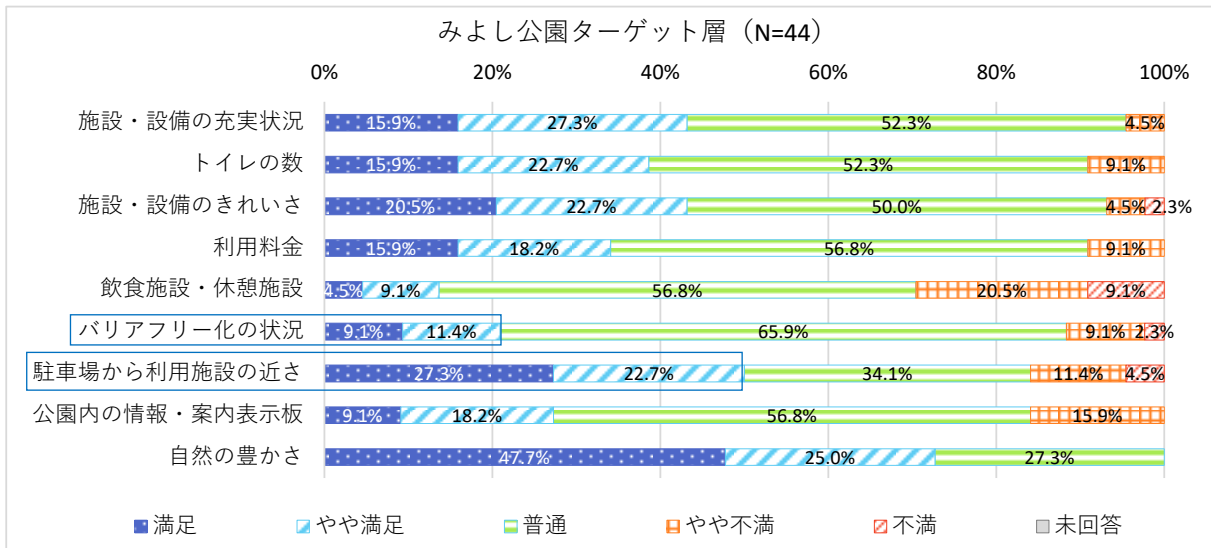


図5-2 みよし公園 ターゲット層の施設面の満足度の傾向

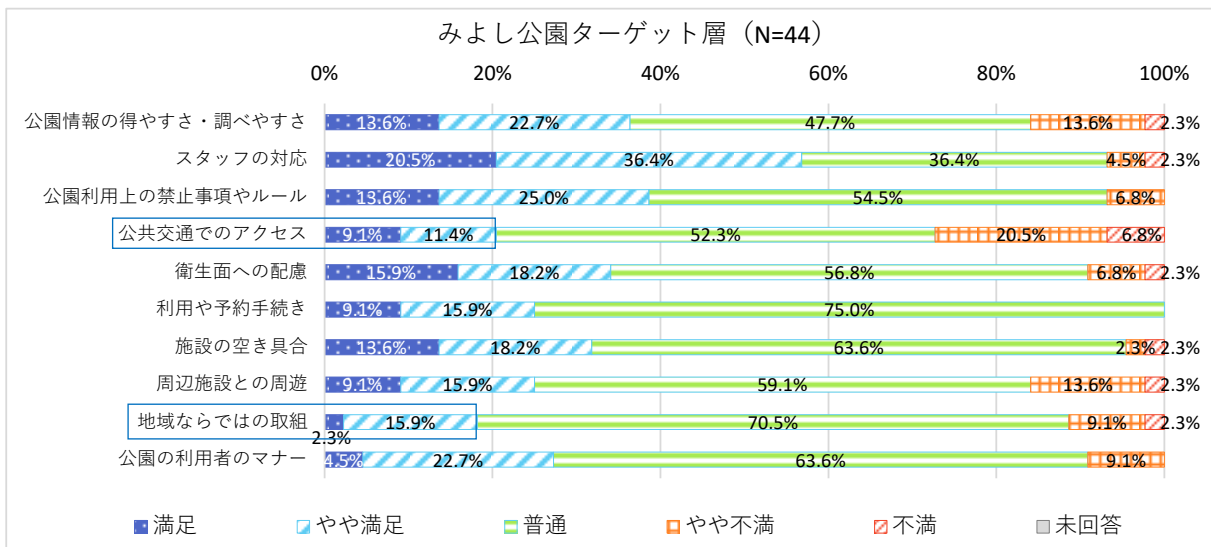


図5-3 みよし公園 ターゲット層の運営・維持管理面の満足度の傾向

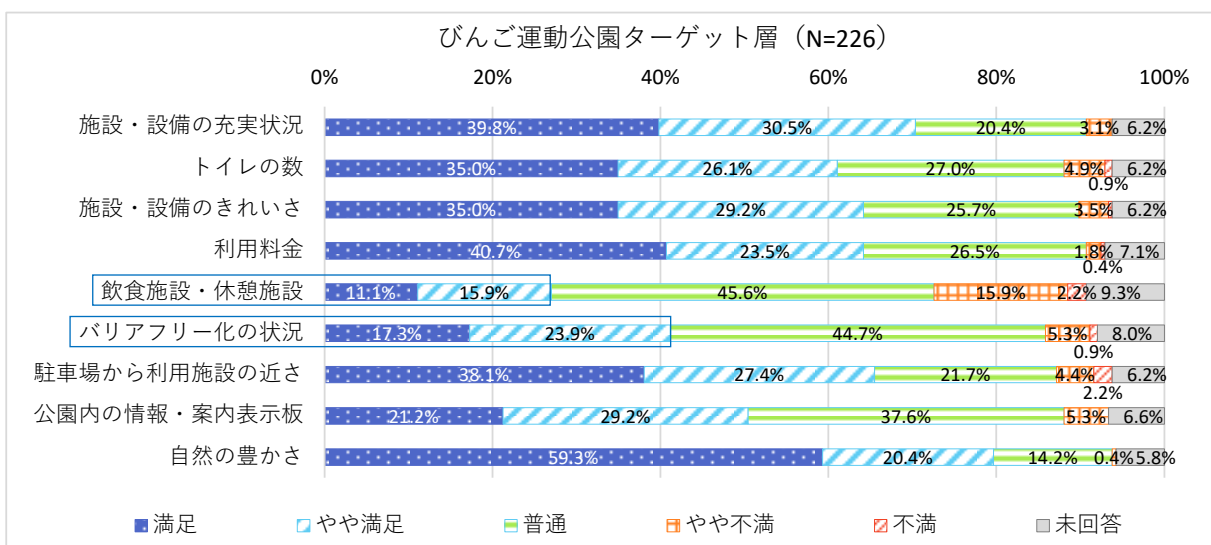


図5-4 びんご運動公園 ターゲット層の施設面の満足度の傾向

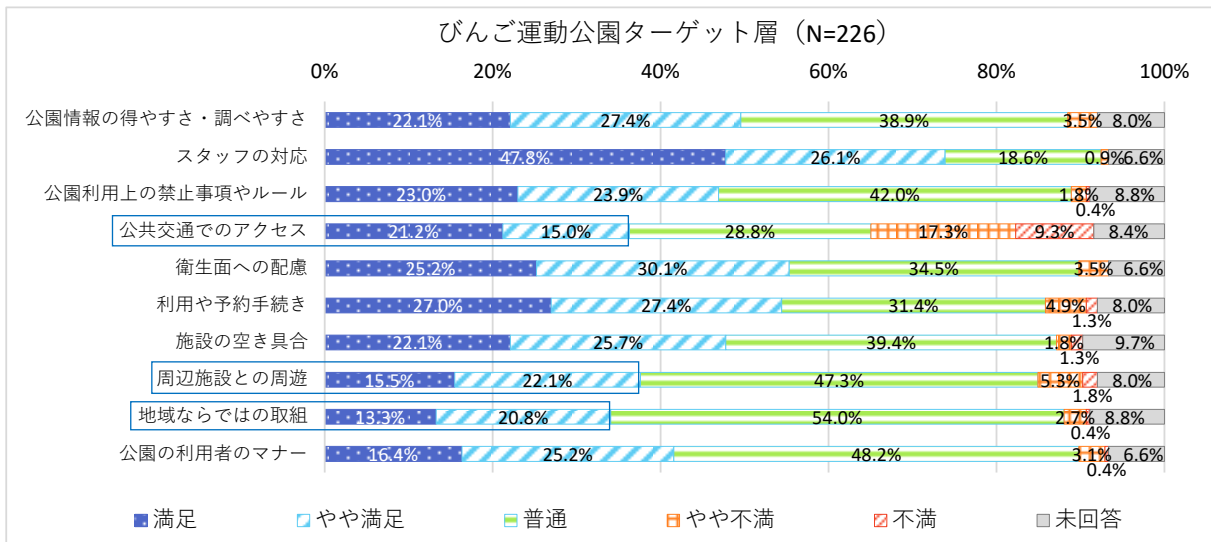


図5-5 びんご運動公園 ターゲット層の運営・維持管理面の満足度の傾向

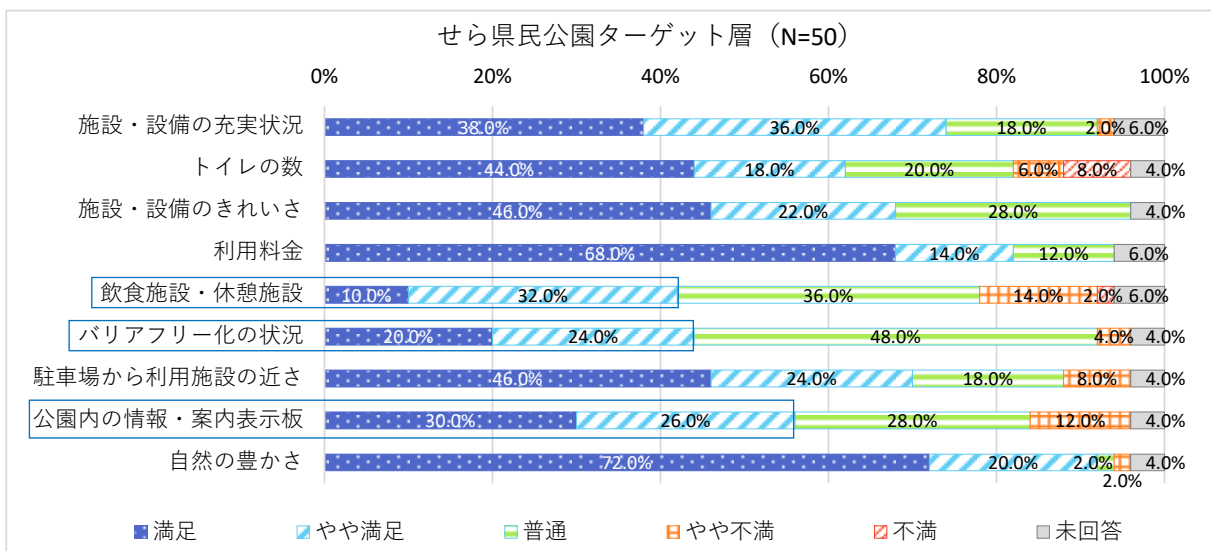


図5-6 せら県民公園 ターゲット層の施設面の満足度の傾向

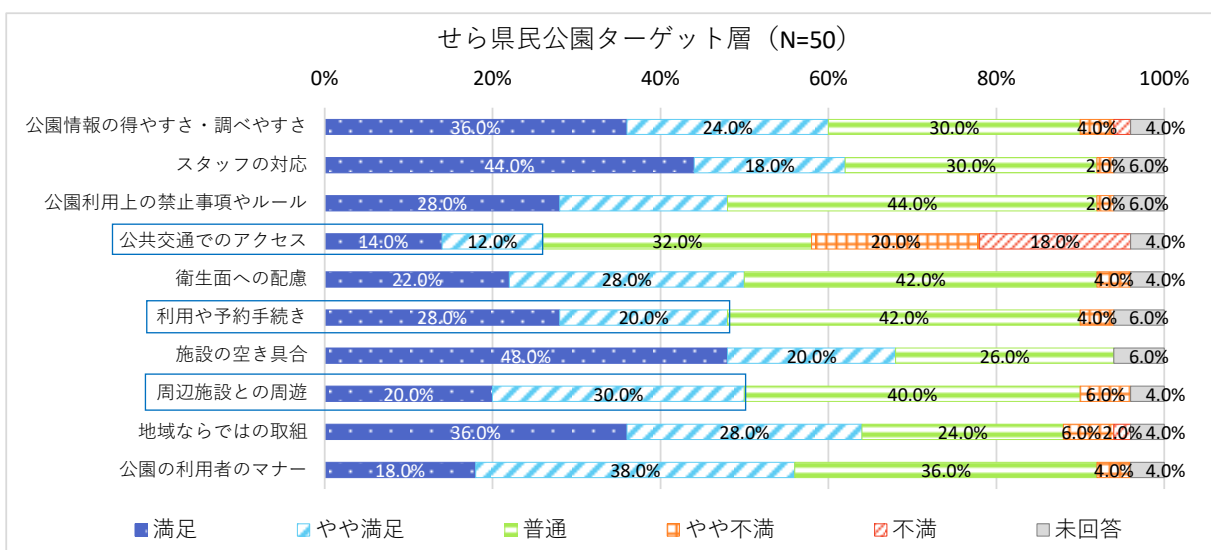


図5-7 せら県民公園 ターゲット層の運営・維持管理面の満足度の傾向

<ターゲット層のニーズ> ※全体傾向とは、ターゲット層も含めた回答者全員の傾向をいう

ターゲット層	30代・40代ファミリー層	60代以上シニア層
みよし公園	<ul style="list-style-type: none"> ・「できればもっと利用するもの」として、<u>“プロスポーツ観戦”</u>や<u>“イベントや催し物の開催・参加”</u>、<u>“食事や休憩”</u>などのニーズが高い。全体傾向と比較した場合、上位ニーズに大きな差は見られないが、<u>“子育て世代の講座・交流教室”</u>で全体傾向よりニーズが高い傾向が見られる。 ・「公園があればよいと思う施設」は、<u>“じゃぶじゃぶ池（水遊び場）”</u>、<u>“アスレチック”</u>などのニーズが高い。全体傾向と比較した場合、上位ニーズに大きな差は見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「できればもっと利用するもの」として、<u>“健康づくり・病気予防に関する体験教室・講座”</u>、<u>“選手用育成講座・アスリートとの交流教室”</u>、<u>“食事や休憩”</u>のニーズが高く、“食事や休憩”を除き全体傾向と大きく異なる傾向が見られる。 ・「公園があればよいと思う施設」は、<u>“ドッグラン”</u>、<u>“アスレチック”</u>、<u>“カフェ・レストラン”</u>のニーズが高く、“カフェ・レストラン”を除き全体傾向と大きく異なる傾向が見られる。
びんご運動公園	<ul style="list-style-type: none"> ・「できればもっと利用するもの」として、<u>“プロスポーツ観戦”</u>や<u>“食事や休憩”</u>、<u>“イベントや催し物の開催・参加”</u>などのニーズが高い。全体傾向と比較した場合、上位ニーズに大きな差は見られないが、<u>“地域ならではの体験”</u>で全体傾向よりニーズが高い傾向が見られる。 ・「公園があればよいと思う施設」では、<u>“ボルダリング”</u>、<u>“アスレチック”</u>、<u>“じゃぶじゃぶ池（水遊び場）”</u>などのニーズが高い。全体傾向と比較した場合、上位ニーズに大きな差は見られないが、<u>“冒険遊び場”</u>で全体傾向よりニーズが高い傾向が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「できればもっと利用するもの」として、<u>“健康づくり・病気予防に関する体験教室・講座”</u>や<u>“プロスポーツ観戦”</u>、<u>“年齢・障害に関わらず参加しやすい講座・イベント”</u>のニーズが高い。“プロスポーツ観戦”を除き全体傾向と大きく異なる傾向が見られる。 ・「公園があればよいと思う施設」では、<u>“カフェ・レストラン”</u>のニーズが最も高い。全体傾向と比較した場合、上位ニーズに大きな差は見られないが、<u>“特になし”</u>で全体傾向よりニーズが高い傾向が見られる。
せら県民公園	<ul style="list-style-type: none"> ・「できればもっと利用するもの」として、<u>“食事や休憩”</u>や<u>“自然環境保全活動・環境学習”</u>、<u>“イベントや催し物の開催・参加”</u>のニーズが高い。全体傾向と比較した場合、上位ニーズに大きな差は見られないが、<u>“子育て世代の講座・交流教室”</u>や<u>“お得なクーポンや他施設との周遊割引”</u>で全体傾向よりニーズが高い傾向が見られる。 ・「公園があればよいと思う施設」は、<u>“冒険遊び場”</u>、<u>“アスレチック”</u>のニーズが高い。また、全体傾向と比較した場合、冒険遊び場、じゃぶじゃぶ池（水遊び場）などのニーズが高く、上位ニーズに差が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「できればもっと利用するもの」として、<u>“食事や休憩”</u>や<u>“自然環境保全活動・環境学習”</u>、<u>“イベントや催し物の開催・参加”</u>、<u>“年齢・障害に関わらず参加しやすい講座・イベント”</u>のニーズが高い。全体傾向と比較した場合、上位ニーズに大きな差は見られないが、<u>“フォトスポットでの撮影”</u>で全体傾向よりニーズが高い傾向が見られる。 ・「公園があればよいと思う施設」は、<u>“カフェ・レストラン”</u>や<u>“キャンプ場”</u>などのニーズが高く、全体傾向と比較した場合、上位ニーズに大きな差は見られない。

リピーターを増やすため、参考として、週1回以上の利用者の利用目的、利用施設、施設・運営に関する満足度についても整理しました。

＜（参考）リピーターの利用目的、利用施設、施設・運営に関する満足度＞

リピーター	利用頻度週1回以上
みよし公園	<ul style="list-style-type: none"> • <u>“教室・スクール”</u>、<u>“子供を遊ばせる”</u>などを目的にしている方が多く、全体傾向と比較した場合、<u>“健康増進”</u>が多くなっている。 • <u>“温水プール”</u>、<u>“カルチャーセンター”</u>、<u>“こどもの広場”</u>などの利用が多く、全体傾向と比較した場合、大きな差は見られない。 • 施設満足度は、<u>“自然の豊かさ”</u>が特に高く、<u>“飲食・休憩施設”</u>では低めとなっている。全体傾向と比較すると、<u>“駐車場から利用施設の近さ”</u>で満足が多くなっている一方、<u>“飲食・休憩施設”</u>でやや不満が多くなっている。 • 運営満足度は、<u>“スタッフの対応”</u>が最も高く、全体傾向と比較すると、<u>“利用や予約手続き”</u>について、やや満足が多くなっている。
びんご運動公園	<ul style="list-style-type: none"> • <u>“健康増進”</u>や<u>“教室・スクール”</u>を目的にしている方が多い。 • <u>“プール”</u>や<u>“冒険の森”</u>が特に多く利用されている。 • 施設満足度は、<u>“自然の豊かさ”</u>で非常に高い一方、<u>“飲食・休憩施設”</u>で低めとなっている。全体傾向と比較すると、<u>“駐車場から利用施設の近さ”</u>の項目で高くなっている。 • 運営満足度は、<u>“スタッフの対応”</u>で高くなっており、<u>“公共交通でのアクセス”</u>では低めとなっている。全体傾向と比較すると、すべての項目で満足度が高くなっているが、<u>“周辺施設の周遊”</u>ではやや不満、不満が多くなっている。
せら県民公園	<ul style="list-style-type: none"> • <u>“花や緑など自然鑑賞”</u>や<u>“子供を遊ばせること”</u>を目的とした利用者が多く、全体傾向と比較すると、<u>“教室・スクール”</u>などの目的が多くなっている。 • <u>“自然観察園”</u>や<u>“交流広場”</u>が特に多く利用されている。 • 施設満足度は、<u>“自然の豊かさ”</u>、<u>“利用料金”</u>で高い一方、<u>“飲食・休憩施設”</u>、<u>“バリアフリー化の状況”</u>で低めとなっている。全体傾向と比較すると、<u>“自然の豊かさ”</u>で満足が多くなっている一方、<u>“バリアフリー化の状況”</u>で普通が多くなっている。 • 運営満足度は、<u>“施設の空き具合”</u>や<u>“スタッフの対応”</u>で高く、<u>“公共交通でのアクセス”</u>で低めとなっている。全体傾向と比較すると、<u>“公園の利用者のマナー”</u>でやや満足が多くなっている一方、<u>“公共交通でのアクセス”</u>で不満が多い。

5-2. 基本方針と取組の方向, 具体的な取組

「4-4.目指す姿の実現に向けた課題」で整理した課題へ対応する4つの項目に、ベースとなる「安全・安心を支える取組」を加えた5項目を基本方針として、取組の方向や具体的な取組を整理しました。なお、各取組は、急速に変化する社会情勢等を踏まえ、優先順位づけや取捨選択、試行、見直しなどを行いながら、実施していくこととします。

- 《基本方針1》 多様化するニーズを踏まえた魅力向上
- 《基本方針2》 誰もが安心して利用できる多様性への取組
- 《基本方針3》 地域から愛される公園特性に応じた魅力づくり
- 《基本方針4》 経営的視点からのコスト適正化・収入増への取組
- 《基本方針5》 安全・安心を支える取組

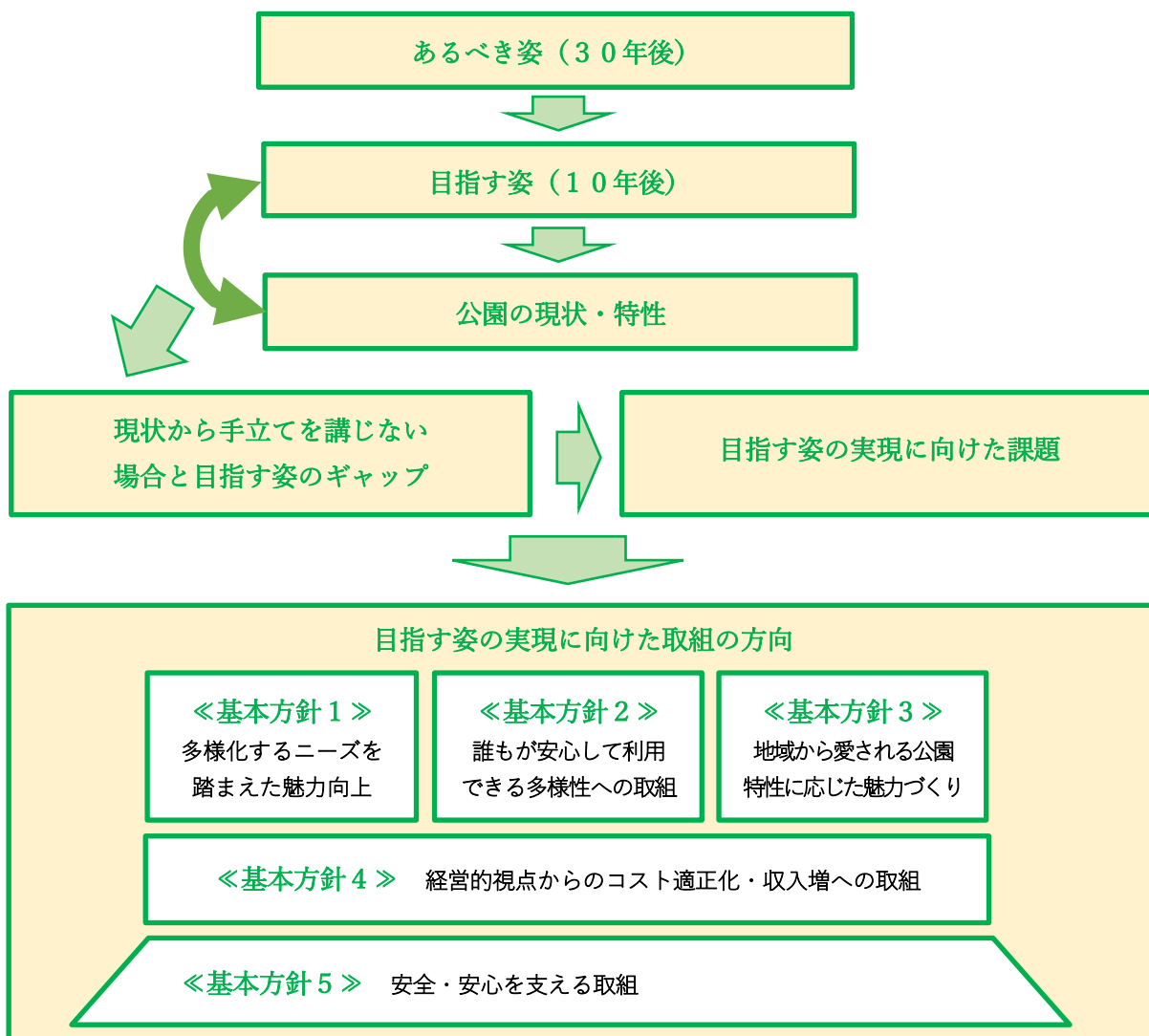


図5-8 あるべき姿から基本方針設定までの流れ

公園の活性化を効果的に進めていくため、取組毎の費用対効果や公園毎の役割、効果発現までに要する時間などを考慮して、重点的な取組を7つ選定しました。

これら7つの取組について、早期に着手し重点的に取り組みつつ、その他の施策も着実に進めていくことで、公園活性化をきっかけとする好循環を生み出し、公園全体の魅力が向上し続ける公園を目指します。

また、特に大きな支出を伴う施策の実施にあたっては、公園経営の観点から、その都度、費用対効果や公園の役割、効果発現までに要する時間などを踏まえて、施策の実施方法や規模などを検討し取り組むこととします。

《基本方針1》多様化するニーズを踏まえた魅力向上

【3公園共通】

項目	目指す姿の実現に向けた取組の方向	具体的な取組
①民間のノウハウを活用した魅力向上	○公園敷地の未活用エリアにおいて、民間活力により飲食施設などを導入し、公園の魅力向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・Park-PFIなど民間活力の導入【重点】 ・公園施設の設置管理許可制度を活用した魅力向上
②利用者のニーズを踏まえたサービス提供	○利用者ニーズが高いサービスについて導入検討を行い、効果が高いものなどを随時導入していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・キッチンカー等の誘導 ・キャッシュレス化 ・フリーWi-Fiの導入 ・開園時間・開園日の拡大
③オープンスペースの魅力向上	○簡易な飲食施設の立地や魅力的な景観形成により、オープンスペースの魅力向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催やキッチンカー出店等の手続きの簡素化・スマート化 ・ひろしまはなのビジョンを踏まえた花や緑に親しむイベント等の実施 ・花や緑を基調とした美しい景観の創出
④利用者のニーズを踏まえた施設更新・整備	○多様化する利用者のニーズを踏まえ、魅力向上のための工夫を施して施設を更新し、必要に応じて整備も検討します。	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力向上に資する施設更新・整備【重点】
⑤多様な使い方を誘発	○情報発信や見える化、使い方の幅を広げる工夫（例えば、アーバンスポーツ等の新たな使い方を試行するなど）を積極的に実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・公園利用の見える化・情報発信【重点】 ・公園禁止事項の緩和 ・管理運営者による公園利用案内の強化 ・園内での農産物の生産・販売
⑥DXの推進	○公園利用や維持管理に関するDXを推進し、公園をより利用しやすくします。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス化（再掲） ・利用予約の簡素化 ・ICT技術を活用した維持管理
⑦継続的なニーズ把握	○公園利用者へのアンケート調査等の実施により、継続的にニーズを把握し、公園の活性化に反映します。	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査やデータを活用した利用者の動向分析等の実施

《基本方針2》誰もが安心して利用できる多様性への取組

【3公園共通】

項目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	具体的な取組
①気軽に利用できる環境づくり※	○子育て世代や高齢者、障害者など、誰もが気軽に利用できるような環境づくりについて検討し、対策を実施していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化・インクルーシブ化【重点】 ・子育て支援施設の更新
②居心地の良い環境づくり※	○施設更新時や空間形成時において、様々な工夫により、長時間滞在できる居心地が良い環境を形成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの洋式化・タッチレス化 ・わかりやすい園内表示の工夫 ・安心して見守りができる環境形成 ・フリーWi-Fiの導入(再掲)

※SDGsへの配慮（3：すべての人に健康と福祉を）

《基本方針3》地域から愛される公園特性に応じた魅力づくり

【3公園共通】

項目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	具体的な取組
①多様な主体の参画を誘発※	○地域住民やボランティア団体、民間企業など、多様な主体が参加しやすいように情報発信や環境づくりなどを行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・民間のCSR活動・NPO活動を推進【重点】 ・多様な市民グループによる活動やイベント等を誘発
②地域活動を誘発する環境づくり※	<p>○地域住民と公園との関わりを形成するための仕組みづくりを行います。</p> <p>○地域住民が花や緑等の自然に関わる場として公園を提供するとともに、関係する個人や団体が主体的に交流し、連携しやすい環境をつくり、地域づくりの担い手育成へも貢献します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーター制度の導入など公園の管理運営に参加しやすい環境づくり【重点】 ・多様な市民グループの企画による活動やイベント等を誘発(再掲) ・地域づくりプラットフォーム等への参画 ・都市公園法第17条の2に基づく協議会の設置(利用者の利便性の向上)

※SDGsへの配慮（17：パートナーシップで目標を達成）

【みよし公園】

項目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	具体的な取組
①広島圏域からも集客できる魅力づくり	○人口が集中する広島圏域から集客するための工夫や仕組みづくりを行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・広域利用者の優遇措置の検討

【みよし公園・びんご運動公園】

項 目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	具体的な取組
①文化活動・企業研修を誘発	○スポーツ・レクリエーションのみでなく、公園での文化活動や企業研修等の実施を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動・子育て教室等の強化 ・企業研修の場としてのPR強化 ・体験イベントや音楽会、学術講演、プライダル撮影などの実施検討
②スポーツを核とした交流	○スポーツによる交流を継続、発展させていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツ選手等による指導の強化 ・スポーツ交流イベントの実施 ・スポーツ合宿の誘致 ・各種運動教室(健康増進や体力増強等)の強化 ・アーバンスポーツやニュースポーツ等の導入検討

【せら県民公園】

項 目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	具体的な取組
①自然活動や環境学習を誘発する環境づくり※	○県内でも貴重な自然観察園を活用した活動を推進するための環境づくりを行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習を通じたコミュニティ活動等に取り組みやすい環境づくり ・自然を活用した森林セラピー等の導入検討 ・都市緑化や生物多様性に係る専門人材の配置
②周辺施設からの利用誘導※	○周辺の観光・レクリエーション施設と連携した活性化について検討し、具体的な施策を実施していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・観光周遊コースの醸成 ・地域づくりプラットフォームへの参画(再掲) ・スタンプラリー等の連携事業の実施

※SDGs への配慮 (17: パートナリシップで目標を達成)

コラム

公園内での自然保護活動の事例

せら県民公園の自然観察園では、三原市及び世羅町の各所で活動する「ヒョウモンモドキ保全地域協議会」の協力により、三原市の小学校や世羅町の小・中学校及び高校でヒョウモンモドキの飼育や観察に取り組んでおり、公園等での自然活動や環境学習を通じて将来を担う地域の子供たちの意識を高める取組が広がっています。



野アザミの蜜を吸うヒョウモンモドキ

《基本方針4》 経営的観点からのコスト適正化・収入増への取組

【3公園共通】

項目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	具体的な取組
①新たな維持管理手法の導入	○新たな公園利用者を開拓し、利用者の満足度の向上や滞在時間を拡大させるため、現行の指定管理者制度の活用と合わせて、Park-PFI などによる民間活力を導入することで、公園全体の魅力向上や公園での収益性の向上を図るとともに、公園整備や管理運営に係る財政負担の軽減も図ります。	<ul style="list-style-type: none"> • Park-PFI など民間活力の導入（再掲） • 公園施設の設置管理許可制度を活用した魅力向上（再掲） • キッチンカー等の誘導（再掲）
②新たな資金調達手法の導入	○民間からの新たな資金調達手法の導入を図るとともに、広大な公園敷地を有効活用し、クリーンエネルギー発電によるコスト縮減や収益向上について検討します。	<ul style="list-style-type: none"> • ネーミングライツの導入 • 寄付制度やクラウドファンディングの導入 • クリーンエネルギーを活用した収益の向上検討
③利用実態に即した施設更新	○施設の利用実態と施設水準とのミスマッチを洗い出し、適正な施設更新を行います。	<ul style="list-style-type: none"> • 詳細な利用実態の把握・分析と施設更新への反映
④利用料金の適正化	○支出と収入（利用料金等）との差が大きい施設について抽出し、利用料金の適正化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> • 公共コストの適正化【重点】 • ダイナミックプライシングの導入検討
⑤多様な主体の参画を誘発（再掲）	○地域住民やボランティア団体、民間企業など、多様な主体が公園の管理運営に参加しやすいように情報発信や環境づくりなどを行います。	<ul style="list-style-type: none"> • 民間のCSR 活動・NPO 活動を推進（再掲） • サポーター制度の導入など公園の管理運営に参加しやすい環境づくり（再掲）
⑥コスト縮減	○計画的な施設更新によりトータルコストの削減を図るとともに、施設更新時において、コスト縮減に資する対策を随時実施します。	<ul style="list-style-type: none"> • LED 化・ローメンテナンス植栽の採用 • 公園修繕方針に基づく適切な施設更新によるトータルコストの削減

コラム ネーミングライツの導入事例

ネーミングライツとは、法人名やブランド名等を、公共施設の愛称として付与する権利（命名権）のことです。

みよし公園・びんご運動公園では、公園への愛着と収入を増加させる取組として、令和4年2月1日からネーミングライツを導入し、みよし公園は「電光石火みよしパーク」に、びんご運動公園は「こざかなくんスポーツパークびんご」という愛称での運用を始めました。



ネーミングライツパートナー契約締結式の様子

《基本方針5》安全・安心を支える取組

地球温暖化を背景として、自然災害の激甚化が顕著となってきています。広島県においても平成26年8月豪雨や平成30年7月豪雨では多くの貴重な人命が失われました。県立3公園のうち、特にみよし公園及びびんご運動公園は防災機能を有する公園として、防災機能の強化が重要となります。

これらを踏まえ、県立3公園の活性化においては、活性化を支える基盤づくりとして、安全・安心を支える取組に対して積極的に取り組みます。

【3公園共通】

項 目	目指す姿の実現に向けた取組の方向性	具体的な取組
①防災拠点としての機能確保や活用強化※	○防災拠点として、求められる経年的な変化に対応した機能確保を図るとともに、防災機能を高めるための新たな公園活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災対応機能（耐震・電力）の確保 ・防災訓練の場としての活用の誘導や防災学習を兼ねたイベントの実施
②公園施設の適切な維持管理※	○安全・安心な公園利用を行うため、維持管理を適切に実施していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な大規模改修・修繕の実施 ・DXを活用した獣害対策
③グリーンインフラの視点による防災機能の強化※	○公園施設の更新において、グリーンインフラの視点により、防災機能の強化を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・園路など雨水浸透化
④カーボンニュートラルへの対応※	○クリーンエネルギーの活用によりカーボンニュートラルに貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光などクリーンエネルギーの活用 ・森林の適切な管理

※SDGs への配慮（11：住み続けられるまちづくりを）（13：気候に具体的な対策を）

コラム クリーンエネルギーの活用事例

みよし公園（カルチャーセンター）や、びんご運動公園（健康スポーツセンター）では、太陽光パネルや蓄電池を設置して、通常時の光熱費削減に役立っているほか、非常時の電力供給源としても活用しています。

また、みよし公園においては、プールの加温や冷暖房・給湯に地中熱エネルギーを活用しています。



みよし公園 カルチャーセンター屋上太陽光パネル、温水プール（熱源システム図）